

秋風が吹き始めました

やっと秋の気配を感じるようになってきました。今年の夏は本当に暑かったですね。夏の疲れは残っていませんか？体調を崩しやすい季節です。ご自愛ください。さて、縁結び9月号をお届けします。ご一読いただくと幸いです。



今月は防災訓練の特集です。クローバーの事業所では毎月、防災訓練を実施しています。災害時に備えてどのような訓練をしているかお知らせします。



いとぐるまは、災害備蓄品の管理、補充を利用者さん主体でおこないます。発災時、何がどれくらい、どこにあるか、利用者さんが知らないと利用できないこともあります。また、こうして役割を決めて取り組むことで、それぞれの防災意識が高まります。



左はBeginの訓練です。Beginは2階なので発災時、エレベーターを使って避難できません。車いすの方がいらっしゃるので背負っての避難になります。右側は職員の消火器の訓練です。年に2回、消火器の使い方の練習が義務付けられています。



シンポジウム 今年も開催します!

横浜市戸塚区社会福祉協議会 障がい福祉分科会 障害者週間シンポジウム



とつかわかば

～一緒に考えたい 防災のこと～

とつかわかばは障害者が主役となり、地域の皆様に想いを発信するシンポジウムです。今年のテーマは「災害」!

内容(予定)
映像上映
寸劇
発表



平成30年12月3日(月)

13:30~15:30(開場 13:00)

会場: 男女共同参画センター横浜 ホール
(住所: 横浜市戸塚区上倉田町 435-1)

主催: 戸塚区社会福祉協議会 障がい福祉分科会

上記の画像はイメージです。あらためて開催案内を同封いたします。

＝お詫び＝

事業所の近隣にお住いの方から、外活動や事業所への行き来の際の利用者のマナーについてご注意をいただきました。その反省から、利用者の皆さまと外活動でマナーについて話し合いをおこないました。また朝、帰りについては支援者が見守りを実施しています。見守りについては、マナー等の確認ができれば一旦終了し、今後は単発での見守りにしていきます。外活動においては、外でのマナーを習得する機会にもなりますので、支援者も正しい意識で支援をするように心がけます。

ご迷惑をおかけしてしまったこと、お詫び申し上げます。

お知らせ 先月、ご紹介した「人生の主人公として生きるための～26の権利～」についてお問い合わせをいただきました。この冊子は一般販売はなく、「新宿区手をつなぐ親の会」のホームページからの購入になります。



〒245-0067
戸塚区深谷町 826-1
社会福祉法人クローバー
(045-392-6926)
発行: 高橋良壽



今年のシンポジウムのテーマは災害時のことを取り上げます。災害時に地域とどうやって連携をとっていくか、また発災時に私たちができることも探していきます。

その他、区内の事業所や区内で暮らす障がいのある方々が災害時のことをどのように考えているか、その点も明らかにしていきます。

そのためにアンケート調査をしたり、当日に上映する映像を撮影しています。完成を楽しみにしてください。



とつかわかば

撮影のときの写真です。上はとつかわかばの水害を想定した訓練。脳血管障害の利用者さんが2階に避難しています。下は平戸地区の防災訓練です。NPO法人風の音が地域と一緒に防災訓練を作っています。10年の歴史があります。



平戸地区防災訓練